

練習の成果を十分に発揮した「縄跳び大会」！～自己記録更新に向けて、しっかりと跳ぶことができました。～ <2/6>



2月6日(木)に「縄跳び大会」を「園舎南側の広場」で行いました。この日のため、子どもたちは12月頃から、朝や昼休みなどの自由遊びの時間に自分から進んで練習してきました。特に年中さんにとっては年少の時から「憧れていた縄跳び大会」への参加です。上手な年長さんやお友だちの真似をしながら、またはお友だちと互いに競い合いながら技能の向上に努めてきました。

10時になり、年長組・年中組の園児たちが園舎前広場に集合しました。クラスごとに整列し先生の簡単なお話の後、準備運動を行いました。その後、クラスごとに輪を作りました。いよいよ大会の始まりです。名前の順に「前跳び」をして、跳んだ数を競い合います。全員が自己記録更新に向け、真剣な表情で跳び始めました。「子どもたちが目標をもちやすいように、「縄跳びカード」を3学期はじめに渡し、先生方が毎日のようにチェックしています。カードに記された目標の数や跳び方をクリア(達成)すると、先生方からきれいな合格印をもらえるので子どもたちは大喜びです。



いよいよ本番。各クラスとも一人2回チャレンジできます。年長組は昨年大会を経験しているため、年中さんより跳び方も安定しています。そのため、長く跳び続ける子も続々と出ています。中には200回を超える子も。「先生ヤッター！今までで一番多く跳べた。」と嬉しそうに報告する子もいます。すると、先生が思わず「スゴイ！」と大きな声で褒めます。その光景に、見ている方も「ジーン」ときます(愛情たっぷりの先生方です)。



年中「ひまわり組」では、初めて50回以上跳ぶことができたお友だちもいて、「本番に強いな」と感じました。一方で練習の力が発揮できず「もう少しだったのに…」と悔しそうな表情の子も。「あさがお組」では、連続して一重飛びができる子も増えてきたところでした。縄跳びを練習しても上手いかず、くじけそうになる子もいたのですが、先生方の励ましで少しずつ跳ぶ喜びを感じ始めたようです。

寒さが厳しかったり風が強かったりと、園庭で練習するのはとても大変だったと思います。でも、子ども達は本当によく練習していました。その結果、年長さんでは100回以上跳んだ子が15名。さすが年長さんですね！大会終了後に表彰式を行いました。年中組・年長組とも上位3名が表彰を受けました。名前を呼ばれると元気に「ハイ」と返事をして、誇らしげに前に出てきます。そして、手作りの「金色に輝くメダル」が授与されました。おめでとう！よく頑張ったね！スゴイ！

